

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

和泉式部、保昌が<sup>A</sup>妻にて<sup>B</sup>丹後に下りけるほどに、京に<sup>C</sup>歌合ありけるに、小式部内侍、歌よみにとられてよみけるを、定頼の中納言、<sup>①</sup>たはぶれに小式部内侍に、「丹後へつかはしける人は参りにたるや。」と言ひ入れて、<sup>D</sup>局の前を過ぎられけるを、小式部内侍、<sup>E</sup>御簾よりなかば出でて、<sup>F</sup>直衣の袖をひかへて、

**大江山いくの道の遠ければまだふみもみず天橋立**

とよみかけけり。思はずに<sup>②</sup>あさましくて、「こはいかに。」とばかり言ひて、返しにも及ばず、袖をひきはなちて逃げられにけり。小式部、これより<sup>③</sup>歌よみの世おぼえ出で来にけり。

(1) ~~~A~Fの漢字の読みを、現代仮名遣いでそれぞれ答えなさい。

(2) ——①~③の語句の意味をそれぞれ答えなさい。

(3) 本文が収められている書物名を答えなさい。また、その書物の編者名とジャンルも答えなさい。

(1) A め B たんご C うたあわせ

D つぼね E みす F のうし

(2) ① 冗談に

② 驚いて

③ 歌人としての世の評判

(3) (書物名) 古今著聞集

(編者) 橘成季

(ジャンル) 説話